

科目名 (英)	保健Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	米山 乃生子
学科・コース	美容師科	授業 形態	座学	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日・1時間(90分)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>保健学は解剖学と生理学を合わせたような科目です。以前は「解剖生理学」という事もありました。  私は、歯科大学で解剖学、生理学を学び、卒業後は薬の業界から臨床へ、その後教育の場へ、同科目の教育については、登録販売者・歯科助手・歯科衛生士・美容師を育てる専門学校にて20年ほど携わって来ました。  この科目は人体を取扱う職業人として、当たり前には持っていない知識と言えます。  美容師を目指す皆さんに必要な身体の形(構造)＝解剖学と身体の働き(機能)＝生理学を楽しみながら学んでもらいたいです。  知らないことを知る！それが専門課程の勉強です。知的好奇心を全開に学習に臨んでください。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>美容とは美しく変容させること。  美しさとは内側と外側の連携にて表れる現象です。  どんなに素晴らしい化粧品を使っても、肌がボロボロでは活かせません。  疲れや悩みで表情が沈んでいては映えません。  お客様や身近な人の健康や栄養、静養方法などの相談に応えられる美容師を目指します。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・保健学テキスト ・化粧品化学テキスト ・ワークブック				復習を1科目1時間を目安に行う。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	・接触皮膚炎と化粧品の定義						
2	・接触皮膚炎と化粧品原料					2点	
3	・接触皮膚炎と美容技術で使用する薬剤の化学的特性					2点	
4	・皮膚科学6章5項～12項					2点	
5	・皮膚の感染症と理容美容の用具や手指を介して感染するおそれのある疾患					2点	
6	・皮膚科学の暗記リストを作成する。					2点	
7	中間テスト					20点	
8	・保健学問題演習1						
9	・保健学問題演習2					2点	
10	・保健学問題演習3					2点	
11	・保健学問題演習4					2点	
12	・保健学問題演習5					2点	
13	・保健学問題演習6					2点	
14	・保健学問題演習7						
15	定期試験					60点	
【特記事項】 [持ち物リスト] ・ノート ・プリントを保存するファイル ・筆記用具(シャープペン、マーカー) あると良い:4色ボールペンと修正テープ				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	文化論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
						曜日・時間	木 1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 文化論教員資格を受けた教員が美容文化論の講義をする。理容業・美容業の歴史を理解し、さらに髪型・化粧・服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインを起こすヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】  西洋のファッション文化史を、古代エジプト～現代2010年までを修得する。礼装の種類を覚える。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
文化論教科書				教科書、プリント等による予習復習			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	第4章 1古代エジプト 2ギリシャ・ローマ 3ゲルマン					2	
2	第4章 4中世ヨーロッパ					2	
3	第4章 5近世(16世紀)6近世Ⅱ(17世紀)7近世Ⅲ(18世紀)					2	
4	第4章 8近代Ⅰ 9近代Ⅱ 10現代Ⅰ 11現代Ⅱ					2	
5	第4章 12現代Ⅲ 13現代Ⅳ14現代Ⅴ 15現代Ⅵ 16現代Ⅶ					2	
6	中間試験 対策授業						
7	中間試験 第4章より設問					中間試験20	
8	大5章 礼装の種類					2	
9	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
10	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
11	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
12	全範囲 練習問題 回答・解説					2	
13	定期試験 対策授業 前編						
14	定期試験 対策授業 後編						
15	定期試験 第1章～第6章までの国家試験レベルの問題					定期試験60点	
【特記事項】 状況により変更の可能性もあります。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	西島、市川
		授業 形態	筆記座学	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科			曜日・時間	(火)3組1限、4組2限、1組3限、2組4限		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、美容技術理論、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。後期は国家試験を意識し、過去問、演習問題を解いていきながら理解を深め、国試合格を目指していきます。就職先でのサロンワークにも知識として活かせるよう、サロンワークと関連付けながら学んだことを定着できるように授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師国家試験の合格を目指し、各分野の美容技術を理解できるようになる。国家試験問題に対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	8章 エステティック概論						
2	エステティック復習、9章ネイル技術						
3	ネイル技術道具、手順、注意事項						
4	ネイルまとめ、10章 メイクアップ						
5	メイクアップ、まつ毛エクステンション					5点	
6	11章 日本髪						
7	日本髪の復習、中間テスト対策						
8	中間テスト					10点	
9	中間テスト振り返り、復習、確認						
10	12章 着付け						
11	着付け						
12	着付け復習、花嫁					5点	
13	今までの復習						
14	今までの復習、定期テスト対策						
15	定期テスト					30点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容実習 (国家試験課題)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	山下・小笠原・井坂・萩尾
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 国家試験実技科目 実務経験20年以上の教員が担当 第2課題であるオールウェーブセッティングを合格レベルに到達させ、国試審査基準を理解した作品に作成するための技法を指導							
【授業を通じての到達目標】  国試課題の科目を合格点までもっていく。レベルアップと不得意箇所の改善。審査項目を取り入れる作品作り。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
道具一式 衛生用具一式 ノート 教科書 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1年次の復習 確認 全頭35分完成 7段構成確認						
2	1段目 2段目 3段目までタイムアップ スカルプチュアカールの完成度をあげる。3段目までのバランス強化						
3	フィンガーウェーブ強化 7段ウェーブ幅 くりぬき部分の確認						
4	4段目 5段目強化 リフトカールの完成度をあげる。						
5	6段目メイボールカール					5	
6	7段目クロッキノールカール カールの位置とピンニング強化					5	
7	中間試験 全頭30分 7段ウェーブバランスとカールの位置					20	
8	ウェーブ リッジ強化 毛流れハーフウェーブになっているか 割れや重なりがないか						
9	左右ウェーブと中央カールのエリアの確認 3等分になっているか						
10	ステムの方向性 リフトカールのステムおさまりの見直し						
11	耳まわりのウェーブ リッジ 幅の強化 右側ウェーブ強化						
12	審査項目意識しながら 完成度をあげる						
13	全頭25分を仕上げる。不得意箇所の改善					5	
14	定期試験に向けてタイムの確認 タイムアップ 見直し					5	
15	定期試験全頭25分					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅳ (国家試験課題)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	張・飯野・井坂・佐々木・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サロンワークの継続。撮影ブライダルに携わる。美容学校での講師の経験を基に、現場で通用する技術、美容師免許取得の為の技術を教える。							
【授業を通じての到達目標】 国家試験合格レベルの技術を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	国家試験に向けて衛生を覚える。						
2	全頭20分で仕上げる。						
3	全頭20分で仕上げる。						
4	全頭20分で仕上げる。						
5	全頭20分で仕上げる。						
6	模擬試験に向けての練習						
7	模擬試験						
8	国家試験第2課題決定。課題に沿っての授業。						
9	模擬試験						
10	課題に沿っての授業						
11	課題に沿っての授業						
12	模擬試験						
13	課題に沿っての授業						
14	課題に沿っての授業						
15	模擬試験						
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験対策講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技第2課題であるオールウェーブセッティング技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる資格試験合格へ向け前期に習得した基礎にのっとりさらに完成度の高い作品をつくる。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験合格レベルの作品を全頭23分で仕上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	正しい構成の確認					4	
2	ウェーブとリッジの完成度を高める					4	
3	中央の分け取り線とカールの接続を覚える					4	
4	カールの大きさとステム・おさまり・ピンギの強化					4	
5	全頭のスピードアップ 15分に挑戦する						
6	6段目と7段目のおさまりとピンギの強化					4	
7	中間テスト 国家試験と同採点をして合否判定レベルを知る					20	
8	国家試験第2課題						
9	国家試験第2課題						
10	国家試験第2課題						
11	国家試験第2課題						
12	国家試験第2課題						
13	国家試験第2課題						
14	国家試験第2課題						
15	国家試験第2課題						
【特記事項】 ●評価は、模擬試験の成績等も加味して総合判断する。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点(模擬試験の成績を考慮) 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験特別講座	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	張・飯野・井坂・佐々木・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	集中授業
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
サロンワークの継続。撮影ブライダルに携わる。美容学校での講師の経験を基に、現場で通用する技術、美容師免許取得の為の技術を教える。またその為の国家試験免許取得に向けて、対策講座を行い国家試験合格を目的とした授業を展開していく。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験合格レベルの技術を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	国家試験に向けて衛生を覚える。						
2	全頭をタイム内に仕上げる。						
3							
4							
5							
6	模擬試験に向けての練習						
7	模擬試験						
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行います。				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			